# RoboticLite Ver.2.0.3.0 アップデート概要

2016 年 7 月 株式会社 ニコン・トリンブル

本書では、RoboticLite Ver.2.0.3.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## ■ ソフトウェア構成表

◆RoboticLite Ver.2.0.3.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
RoboticLite 基本	B-A1-T00	基本キットに含まれます	横断観測連携など

※本バージョンと接続できるシステムのバージョンは下記の通りです。

 •efit+ for TCU
 : Version 1.4.3.0

 •efit+ for S3
 : Version 1.0.8.0

 •efit+ for M3
 : Version 1.1.4.0

 •efit+ for M3(S1)
 : Version 1.1.4.0

# ■ 連携ソフトウェアに横断観測を追加

◆本バージョンから、「efit+ 横断観測」との連携が可能となりました。

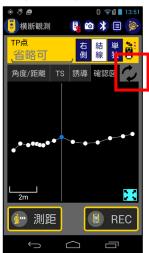


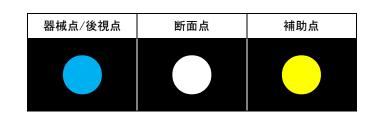
◆トータルステーション観測/ポール観測の切り替えも遠隔で可能です。 右上のアイコンをタップすることでトータルステーション観測/ポール観測の切り替えが可能です。



◆測線のチェックも遠隔で可能です。 トータルステーション側で測線チェックを ON にしておけば、RoboticLite 側で測線の離れがチェックできます。







◆横断記号も遠隔で簡単に入力できます。 「メモ」をタップしてメモ入力画面を表示します。



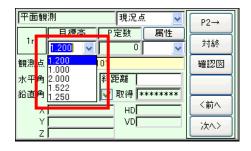
「追加」をタップするとあらかじめ登録されているパーツから横断記号を選択し最大で3つまで入力できます。 また、メモ入力画面のペンアイコンをタップすると任意のメモが入力できます。



#### ■ 平面観測との連携強化

◆目標高の入力で「入力履歴」が利用できるようになりましたので、普段使用する目標高が簡単に入力できるようになりました。





※入力履歴は、常に efit+側と同期しています

◆属性の入力で「入力履歴」が利用できるようになりましたので、普段使用する属性が簡単に入力できるようになりました。 また属性番号に対応する名称も同時に表示するようになりました。





※入力履歴は、常に efit+側と同期しています

◆属性の入力で「属性リスト」が利用できるようになりましたので、属性番号に入力間違いを削減する事ができます。 属性リストの名称は、「efit+」の初期値を採用していますので「efit+」で属性リストを編集した時は、同期アイコンをタップしてリストの名称を同期できます。





◆目標高と属性の入力で「音声入力」が利用できるようになりました。

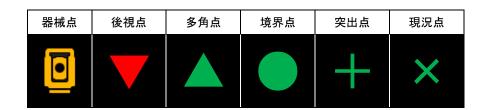


音声認識が成功するとマイクの画面を閉じて入力領域に認識した文字が表示されます。 音声入力を中止する時は、マイク画面領域以外をタップすれば画面を閉じます。

- ※音声入力を行うには、本機(FZ-X1)内に音声認識エンジンのインストールが必要です。
- ◆観測したデータを絵で確認できるようになりましたので、観測間違いを即座に発見できるようになりました。 「確認図」タブをタップすることにより確認図を表示できます。何も表示されていない場合は「確認図」タブ右横の同期アイコンをタップします。



方位マーク、コンパスアイコンをタップすると画面うえを北方向と電子コンパス方向を切り替えます。



## 測設との連携強化

◆測設点リストから測設点を選択できるようになりました。 あらかじめ「efit+」で測設点を登録しておくと RoboticLite 側で測設リストを表示することができます。



測設リストには各種ソート(並び替え)機能があります。



◆測設点リストから測設点の情報を確認できるようになりました。 測設リストの各項目右にあるインフォメーションアイコンをタップすると測設座標や水平角、水平距離を表示します。



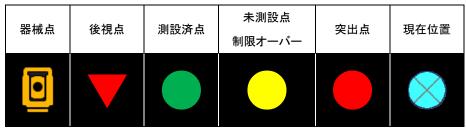
2.282

◆確認図から測設点を選択できるようになりました。 あらかじめ「efit+」で測設点を登録しておくと RoboticLite 側で確認図を表示することができます。



確認図には、測設済点の非表示機能があります。





※制限オーバーは、後視点距離より長いもしくは、測設範囲設定より長い時です。

◆三次元測設時、目標高の入力で「入力履歴」が利用できるようになりましたので、普段使用する目標高が簡単に入力できるようになりました。 (機能及び画面表示は、平面観測と同等です)

# ■ その他改良

◆「機能メニュー」に「簡易マニュアルの閲覧」機能を追加しました。



※本機(FZ-X1)内に PDF リーダーのインストールが必要です。

◆「機能メニュー」の「すべてのデータ削除」を選択した時の警告メッセージを2回表示するようになりました。 間違ってデータ削除してしまう事を削減できます。



以上